

「授業備品」N074 H30.12.19 「子供の主体的な授業評価」

学習指導要領の総則に記述されている「見通し」「振り返り」「問題解決的な学習」「言語活動」「学びあい」などがあまり評価されておらず、子供の学び方を育成する授業につながっていない。

これからの授業評価

主体的・対話的で深い学び（アクティブ・ラーニング）の学びが授業評価の中心となる。授業評価を子供が参加するように変えることが重要だ。

1 ミニ授業反省会

ミニ授業反省会は、その後に行われる教師の授業評価会にも活かされる。考えられるミニ授業反省会の方法は次の通りである。

①子供だけの簡単なミニ授業反省会

「今日の良かったところはありますか」「今日の課題はありましたか」「こうしたらという改善策はありませんか」で話し合う。

②子供と教師が一緒に授業評価（学習リーダーの台本（高知県津野町立精華小学校））

ア 「今から、わたしたちが勉強をした授業についての「反省タイム」をします。先生方も一緒にお願いします。」

○「反省タイムのシラバスです。」

・付箋に反省を書く3分 ・よかったところの発表3分 ・直すところの発表3分 ・質問コーナー1分 ・反省タイムのまとめ1分

○付箋の書き方の説明

「書き方の説明をします。」「ピンクの付箋には、特によかったところを1つ書いてください。」「青色付箋には、直すところと直し方を1つ書いてください。」「名前も書いてください。」「書くことがないと思わないで、どんなに小さなことでも書いてください。」

イ 付箋に反省を書く ○「書く時間は、3分です。」「用意スタート。」ピピピッ！

ウ よかったところの発表 ○「よかったところを発表してもらいます。」タイマー3分セット・スタート

「はじめに、○年生の5人が、よかったところを発表してください。」「発表した人と同じ人は付箋を前のホワイトボードに貼ってください。先生方も貼ってください。」「ほかにありませんか。」（○年生が5人ぐらい発表したら）「先生方からも、よかったことを発表してください。」ピピピッ！

エ 直すところと直し方の発表 「次に直したらよいところを発表してください。」タイマー3分セット「はじめに、○年生の5人が、直すところと直しかたを発表してください。」「発表した人と同じ人は、付箋を前のホワイトボードに貼ってください。先生方も貼ってください。」「ほかにありませんか。」（○年生が5人ぐらい発表したら）「先生方からも、直したらよいところを発表してください。」ピピピッ！

オ 質問コーナー 「今までのところで、質問はありませんか。」ピピピッ！「みなさん、ありがとうございました。」

カ まとめ タイマー1分セット・スタート 「反省タイムのまとめをします。」

（司会者）「反省タイムをして思ったことは、○○です。ほかにも、○○です。これからも自分たちで、授業を作っていきたいです。」「これで、反省タイムを終わります。」

③教師だけの授業反省会

ア 一人付箋紙一枚（横10センチ×縦40センチ）に成果・改善策を記入し、KJ方法で集約

短時間で終えることがポイントだ。付箋紙一枚を操作するため意見集約がしやすい。KJ方法で大まかな教師の考えを集約し、最後に代案を話し合うとよい。なお、子供たちへのメッセージ（褒めてアドアイス）を書く（付箋紙一枚、横10センチ×縦40センチ） イ ホワイトボードに授業改善策を全員が書き、それを全員でシェアし最後に代案を話し合う ウ ワールドカフェ方式（模造紙+短冊1枚）で、最後に代案を話し合う

エ 従来型のWSで、最後に代案を話し合う